

人身事故証明書入手不能理由書（記入例）

◇ここでの 被害者 とは、事故で怪我をした人で、実際の過失とは関係ありません。

御中

当 事 者	運 転 者 ・ 甲	住 所	埼玉県〇〇市〇〇1111-1		
		氏 名	健保 太郎	生年月日	1970年8月7日 37才
		自賠償保険 契 約 先	〇×火災保険株式会社	自賠償保険 証明書番号	第 AB1234-5678 号
		登録番号	大宮11あ2222	車台番号	QW123456-7890
被 害 者 ・ 乙	住 所	埼玉県和光市〇〇1-1 電話 048 (111) 2222			
	氏 名	健康 まもる	生年月日	1960年4月4日 47才	
	自賠償保険 契 約 先	△△共済組合	自賠償保険 証明書番号	第 11-98745632 号	
	登録 車 両 番 号	大宮22い0000	事故時の 状 態	運転・同乗（甲・乙） 歩行・その他	
事 故 発 生 日 時		平成 20年 4月 1日 午前/午後 10 時 35 分 ころ 天候 晴れ			
事 故 発 生 場 所		埼玉県〇〇市〇〇159-2600 において			
届 出 警 察		〇〇 警察 鈴木 担当官	届出年月日	20年 4月 1日	
人 身 事 故 証 明 書 入 手 不 能 理 由		例) 事故当初は痛みがなく人身事故の届けをしなかったが後で症状がでてきたため。怪我が軽かったので話合いの結果人身事故の届けをしなかった。等			

事故の相手方について記入してください

怪我をされた被保険者について記入してください

原則的に甲側の署名捺印が必要ですが、甲が署名捺印しない場合その理由を余白に書いて乙の署名捺印をしてください。理由の記入例)▽乙の過失大きく、甲が署名捺印をしないため、乙の署名となります。▽甲に記入拒否されたため乙の署名となります。▽甲と連絡を取れないため、乙の署名となります。等

◇上記理由により人身事故証明書は取得していませんが、人身事故の事実には相違ありません。

20年 4月 15日

住 所 埼玉県〇〇市〇〇1111-1

運転者（甲）

被害者（乙）

その他

氏 名 健保 太郎

怪我

(健保)

電話 048 (000) 0000

(注)当該自認欄は、被害者請求（法第16条請求）の場合には、原則運転者（甲）側の方がご記入ください。加害者請求（法第15条請求）の場合には、原則被害者（乙）側の方がご記入ください。

（保険会社使用欄）

年 月 日

- 本理由書及び損害立証資料に基づき、人身事故の事実を確認しました。
- 損害立証資料のほか、当社の調査に基づき、人身事故の事実を確認しました。（別紙参照）
- その他（ ）

責任者 担当者

--	--